

かなざわなんぶ

金沢南部地区

(石川県金沢市)

- 計画期間 令和元年度～令和6年度
- 面積 8ha
- 交付対象事業費 881.6百万円
- 市人口 447,209人

ポイント 介護予防施設を核としたまちづくりを展開し、道路や公園の整備を進めることにより、歩行環境を高め、まちの魅力や回遊性を向上させることで、地域住民の健康な生活環境の向上を図る。

地区概要 南部地区は、中心市街地に隣接し、歴史的環境と豊かな自然環境を保全しまちづくりを進めてきたが、商店街の活力低下により、地域住民の回遊性、地域のにぎわい、世代間交流が低下している。

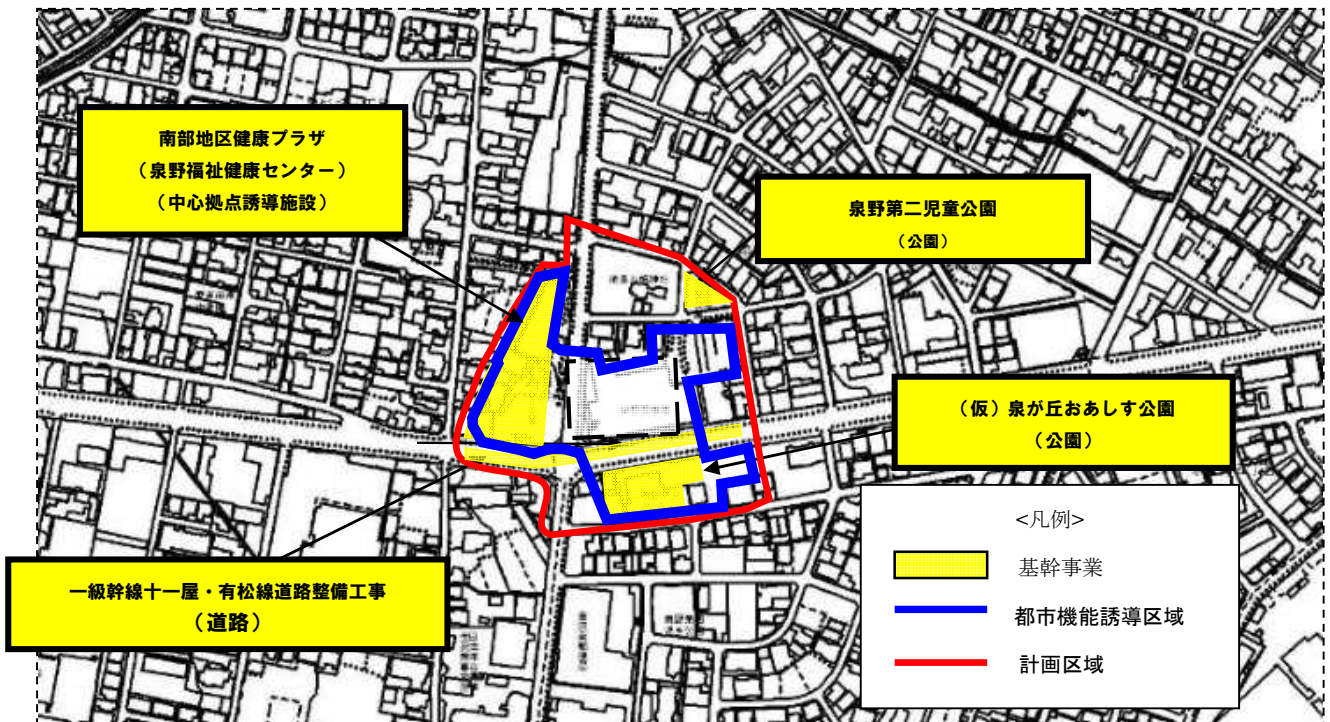
目標 南部地区における介護予防の拠点として都市機能を向上し、健康で質の高い居住環境を構築

指標

周辺居住誘導区域内人口の社会動態	平均△20人/年 (H28)	→	平均+5人/年 (R6)
施設利用者数の増	35,000人/年 (H29)	→	38,500人/年 (R6)
公園の利用者数増	平均2,000人/年 (H29)	→	平均3,000人/年 (R6)

事業内容

基幹事業 (881.6百万円) → 道路 (延長200m)、公園 (2箇所)
 中心拠点誘導施設 (南部地区健康プラザ (泉野福祉健康センター))



地区の現況と課題

現況

金沢南部地区は中心市街地に隣接し、南部丘陵のふもとに広がるゆとりとうるおいのある居住環境を保全し、高等教育機関や市立図書館が集積するなど、市内有数の文教地区として成熟したまちが形成されている。

課題

局所的な宅地開発が引き起こす道路接続性の悪化や、商店街の活力低下により、地域住民の回遊性、地域のにぎわい、世代間交流が低下している。

介護予防施設を核としたまちづくりを展開し、道路・用水・緑地の整備を進めることにより、歩行環境を高め、まちの魅力や回遊性を向上させることで、地域住民の健康な生活環境の向上を図る。



泉野福祉健康センター

計画策定プロセス

「金沢市集約都市形成計画」（平成29年3月策定）において、中心市街地の南部における医療、福祉、健康、スポーツの集積地区として、都市機能誘導区域に指定されており、泉野福祉健康センター及び泉が丘おあしす公園の整備を行い、良好な住環境を高め、定住促進や交流人口の拡大を図り、都市の再構築を目指す。